

## 新年のご挨拶



労働者福祉中央協議会  
会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。  
東日本大震災を通じて、私たちはこれまでの社会のあり方や生き方について深く考えさせられ、「助け合い、支え合い」「人と人とのつながり」の大切さを学びました。これからも労働組合と協同組合の総力をあげて、絆・助け合いの輪を復興・再生、そして日本社会全体の創り直しにつなげていきたいと思います。

いよいよ国連が宣言した国際協同組合年が幕を開けます。内外ともに協同組合の存在が期待されている今、協同組合が連帯

経済の担い手としての新たな姿を示し、社会的存在感や価値、力量を高めていく時です。  
中央労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、幅広いネットワークとの協働で、社会的連帯を深める運動や政策実現、ライフサポート活動、協同事業・労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでいきます。  
新しい時代のステージをみずからの手で創造していくという気概をもって、ともに頑張りましょう。



東京労働者福祉協議会  
会長 遠藤 幸男

東京労福協に加盟する団体・関係者の皆さま、明けましておめでとうございます。  
さて、昨年三月十一日に発生した東日本大震災は、千年に一度とされる超巨大な地震と津波、あわせて福島第一原発崩壊事故と広域に及ぶ放射線物質の拡散をもたらした、東日本の直接被害や風評被害、社会生活全般にかかるインフラ壊滅など深刻な状況が進行しています。

そのような事態に直面した東京労福協加盟の連合東京、労金東京、全労済東京、東京都生協連、東京高退連などの組織は、それぞれの組織の性格を最大限生かし、緊急カンパ活動や救済物資の提供・輸送、被

災者への迅速な共済審査や見舞い、人的支援としてのボランティア派遣活動など懸命な支援活動を今日まで展開してきています。  
二〇一二年は、国連が定めた「国際協同組合年」であり、世界のすべての政治経済社会全体の営みの大きな柱として、各国が協同組合の役割に大いなる力を注ぐことを提唱しています。  
この一年、一日も早い復旧・復興支援の活動を中心に、これまで推進してきた格差と貧困撲滅の運動を展開し、「連帯・協同・共生・支え合いの社会」に向かって力強く歩みを進めましょう。

東京労福協にご協力頂いた皆様から  
新年のメッセージが届きました。  
ご紹介致しますと共に、  
皆様への応援メッセージもお待ちしております。



新年明けましておめでとうございませう。  
と、挨拶をしたもののこの頃友人友人などの本人だけではなくお身内などでがんに罹っている、あるいはがんで亡くなられたという話をいやと言う程聞かされた。  
今は日本人2人に1人はがんに罹り、3人に1人はがんで亡くなる時代だと言われます。  
私は自分のがんに罹る4度の手術を経験して来たものとして、がんとう向き合って行けばいいの？を考えると、是非拙者をお読み頂ければ何がしかの参考になるかと思えます。  
ニースの職人ジャーナリスト 鳥越 俊太郎



あけましておめでとうございませう。  
昨年12月7日の5団体セミナーでは、私の話をお聞きいただき本当にありがとうございました。  
あの時の様子を含めた活動が12月16日のTV朝日モーニングパードで放送され、2012年1月10日現在、牡蠣オーナーのみならず、1,091口となりました。  
これもひとえにみなさまのご支援のおかげです。私たちは、通常、湾内で行われている牡蠣養殖を海外で行っているため、この牡蠣は「荒波牡蠣」と呼ばれています。現在、牡蠣処理場が無いため、処理場で働いていた女性陣は失業中ですが、処理場建設ができれば、また、職場に戻れます。幸甚なことに、私の息子を含めた若い牡蠣漁師も元気に牡蠣養殖を再開しています。どうか、牡蠣処理場が出来、出荷が始まるまで、見守っていただけたら幸いです。今年もよろしくお願いたします。  
荒波牡蠣復活委員会 会長 石森 裕治

荒波牡蠣復活委員会 検索

### 東京国際労働事情研究会の 海外視察事業

平成23年度は、11月26日から12月1日(4泊6日)まで、15名の団員により、ベトナムとカンボジアの視察事業を実施した。

今回の視察は、世界経済の回復が不透明な状況の中で経済危機から順調な回復を示し、経済成長が著しいベトナムが中心となった。戦争が終結し、社会主義共和国となつて35年、1986年から始まった市場経済システムの導入と対外開放化を柱としたドイモイ(刷新)政策を継続、外資導入に向けた構造改革や国際競争力の強化に取り組み、急激な発展を遂げている。ここでは、ジェトロ・ハノイ事務所、ホーチミン日本商工会、地域に根ざして元気に発展するサイゴンコープ、枯れ葉剤の後遺症で苦しむ子どもたちの保護をおこなうツーズー病院を訪問した。一言で表現すると活気に溢れた国という印象であった。

一方、長い間内戦が続き、ポルポトによる恐怖政治がおこなわれたカンボジアでは、日本人が管理運営するスナーダイクマエ孤児院を訪問。基本的な生活を身につけさせるため子どもたちの自主性を重んじた生活指導が信条とのこと。孤児たちの明るい笑顔に救われる思いがした。



迎春！ 本年もよろしくお願いたします。

労働協様には、仲八郎の「ナカハチトーク」の全国ライブをご支援いただくと共に東京ボーイズのライブもご支援いただいております。  
昨年2月6日の「東京ボーイズコレクション」立川談志作品集「ライブに力をかけて頂き、家元(立川談志)との思い出」心より感謝しております。  
これからも笑いの伝道師を  
東京ボーイズ 仲八郎



ナカハチ友の会 TEL:03-3906-8316

今年の賀状には「謹賀新年」と書けませんでした。3.11.抗うことができない地震と津波の暴威、人知を吹き飛ばした原発事故、いらだつ政府の対応の遅さ……。「人間は地球の皮にべりついているだけの存在ではないのか?」根柢から楽天的な私も人生観が変わりました。しかし、「べりついているだけの存在」だからこそ、繋がっていかねばならない。働く人が真つ当な暮らしができること。そして働けない人を支えあうこと。そんな当たり前の社会ができることを願っています。  
ジャーナリスト 二木 啓孝  
日本BS放送(BS11) <http://www.bs11.jp/>



「お母さんはスゴイ!」……この言葉を日本中のお母さんに伝えたくて、百万母力(ひやくまんぼりき)の子育て情報紙「月刊お母さん業界新聞」をつくっています。  
震災以来、不安な時代ですが、お母さんが笑顔であれば大丈夫。お母さんの笑顔は家族の笑顔、地域や社会も元気にします。子育ては「日本の宝」人材をつくる大事業。  
今年「お母さんの笑顔」にことごとくこだわった「新子育て支援」を提案していきます。  
お母さん業界新聞編集長 藤本 裕子  
お母さん大学 <http://www.okaasan.net/>



## 2011年12月5日 東京労福協 第49回定期総会報告



開会挨拶 高須副会長  
議長 連合東京 鈴木企画局長  
来賓挨拶 東京都産業労働局 山口課長  
中央労福協 渡邊副会長  
連合東京 大野会長

遠藤会長 挨拶  
東日本大震災で被災された方々へ、一日も早い復旧・復興、生活再生支援を強化することも、これまで推進してきた格差と貧困撲滅の運動を展開し、「連帯・協同・共生・支え合いの社会」に向かって力強く歩みを進める。2012年は国連が定めた「国際協同組合年」であり、世界のすべての政治経済社会全体の営みの大きな柱として、各国が協同組合の役割に大いなる力を注ぐことを提唱していると挨拶があった。

大森事務局長  
2011年度の活動報告・会計報告・会計監査報告、2012年度の活動方針・スローガン、2012年度予算、役員改選の4つの議案が全会一致の拍手で承認された。  
伊野瀬副会長閉会挨拶  
労働者福祉運動の前進に向け、加盟団体と連携を強化し、活動を展開すると挨拶があった。

## 2012年度東京労福協役員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会長	遠藤 幸男	連合東京
副会長	大野 博	連合東京
事務局長	池谷 匠	中央労働金庫東京都本部
事務局長	高須 則幸	全労済東京都本部
事務局長	伊野瀬 十三	東京都生活協同組合連合会
事務局長	大森 栄司	連合東京
事務局長	加藤 貢	連合東京
事務局長	松村 章治	中央労働金庫東京都本部
事務局長	荻野 里美	全労済東京都本部
幹事	須永 謙治	連合東京
幹事	小俣 要	都労連
幹事	斎藤 薫	中央労働金庫東京都本部
幹事	小松 宏志	全労済東京都本部
幹事	竹内 誠	東京都生活協同組合連合会
幹事	南波 正仁	(公財)東京労働者福祉厚生協会
幹事	森田 重敏	(株)労働者サービスセンター
幹事	岩崎 照明	(財)東京労働者福祉基金協会
幹事	永見 和彦	日野市労働協
幹事	宮崎 安基	東京高連連
幹事	若林 幸夫	中央労働金庫東京都本部
幹事	神山 民夫	全労済東京都本部
顧問	天井 修	東京労働者福祉協議会
顧問	神井 修	東京労働者福祉協議会

## 今年は「国際協同組合年」だ!

2012年は、国連が定めた「国際協同組合年」です。中央労福協・東京労福協は国際協同組合年をスタートとして、協同組合の共助機能を踏まえ、公益機能を発揮し、貧困の根絶、就労の拡大、社会的統合を進めるための運動を展開いたします。

### 国際協同組合年のロゴ

このロゴは、7名の人が協力して立方体を持ち上げ支えている様子を描いています。この立方体は、協同組合の事業が目指す様々なゴール・志や、それらの事業が果たせる成果を表現しています。



東京労福協は、賢い消費者になるために啓発運動を進めています

### DVDシリーズのご案内

中央労金では、労組(組合員)および企業を対象とした各種セミナーにご利用いただけるDVDシリーズを製作しています。

#### ストップ ザ マネートラブル

- 新社会人・若者編 —
- 悪質・詐欺商法対策編 —
- 労組・企業 多重債務対策編 —
- フレッシュアーズ編 —

【お問合せ先】中央労金営業統括部(支援セクション)  
TEL:03-3293-2136 担当:有竹・宮本

## 五団体セミナー

連合東京・中央労働金庫東京都本部・全労済東京都本部・東京都生協連・東京労福協

### 「大都市災害にどう対応するか？」

12月7日(水)田町交通ビル6階大ホールにて280人を超える参加者でセミナーを開催した。基調講演は、「東日本大震災復興計画と課題」と題して、内閣総理大臣補佐官(東日本大震災復興対策担当)衆議院議員、末松義規氏をお招きし、被災地支援に向けた行政としての復旧・復興計画をお聞きすることができた。特別報告として、石巻市よしかき養殖の再生にかける、宮城県魚業協同組合所属の石森裕治氏をお招きし、荒波牡蠣復活委員会の立ち上げによる、荒波牡蠣1口オーナー制度の支援要請を受けた。

五団体報告は、3.11東日本大震災に関するアンケートから見えるものと題して、東京で働く勤労者4,844人よりアンケートの提出を受け、震災時における行動や企業・行政に対する要望等、大森事務局長から報告がされた。



## 総会記念講演

### がんと共に生きる

総会記念講演では、ニュースの職人・鳥越俊太郎氏を講師にお招きし、「がんと共に生きる」と題した記念講演を行った。2005年9月の大腸がん発覚から6年、肺と肝臓への転移を繰り返し手術4回、現在71歳とのことだが、外見は実年齢より10歳くらい若く見えるナイスシニア(?)。がんになったからこそ、身体を労わるようになったこと、桜の花が美しいと感じるなど身の回りの些細なことに非常に敏感になったこと、家族との絆が深まったことなどを紹介し、がんになったことを悲観するのではなく、前向きに捉えれば残りの人生が充実すると話されたことが印象に残った。50歳を過ぎたら、特に60歳以上の方は検診を受ける必要があることも強調されていた。参加された皆さんは健康であることのありがたさを実感されていたようだ。



帰宅訓練のご案内

### 首都直下型地震に備える 2012首都帰宅困難者対応訓練

【日 時】2012年2月4日(土) 9:00受付 10:00出発(小雨決行)

【コース】A. 新宿-杉並コース(約10km) 12:30終了

[受付]JR新宿駅東口広場～[スタート]大久保公園(新宿区)～青梅街道～杉山公園(中野)～桃井原っぱ公園(杉並区)

B. 多摩コース(約13km) 14:00終了

[受付・スタート]調布基地跡地自由広場(調布市)～甲州街道～府中公園～谷保第4公園～錦中央公園(立川市)

### 荒波牡蠣復活委員会のご紹介

世界でも珍しい荒波の外海での牡蠣養殖を復活させようと活動を展開しています。

3.11の東日本大震災で、牡蠣養殖施設のすべてを失い、再び復活を進めております。

#### 【オーナー制度】

1口、10,000円(牡蠣処理場建設費へ半額、残りの半額は2012年以降に取れた荒波牡蠣を1回、お送りする)

荒波牡蠣復活委員会 で検索 詳細は頁の基本データにあります

## 編集後記

昨年の未曾有の大震災は、どれほどの人を嘆き苦しめたか忘れることはできない。願わくば復興への歩みが着実に前進し、まさに新しい明日が切り開かれることを切望する。東京労福協50年、運動の原点である助け合い、支えあい、新しい時代の扉を開き着実な一歩を踏み出さなければならない。

ろうきんは「いつまでも身近で信頼される生活応援バンク」を目指します

雇用・所得情勢等の勤労者を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、ろうきんでは組合員・勤労者の生活応援につながる「低利融資の提供」をはじめ、「家計見直し提案」や「計画的な貯蓄の提案」、「相談会開催(退職準備セミナー・住宅ローン等)」を会員・組合員の皆様の協力を得ながら実施しております。

<ろうきん>は、これからはたらく皆さんの暮らしに役立つ様々な商品・サービスを通じて、皆さんの夢や暮らしを応援してまいります。

もっとサポート  
ずっとサポート

中央ろうきん

支店 船橋・新田・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨に、店舗を展開しています。



ろうきんイメージモデル 高垣 麗子

ZENROSAL NEWS

変わらない「安心」を、お届けしていくために。



何よりも加入者の皆さまの安心を第一に考えたいから。  
営利を目的としない「保障の生協」である  
全労済は、火災はもちろん、地震・風水害・盗難まで幅広くカバーします。

自然災害保障付  
火災共済

保障のことなら  
全労済 東京都本部

(東京労働者共済生活協同組合)  
全労済東京本部事務所 東京都港区芝5-26-30 TEL:03-5484-8029